

# 中小企業オーナー経営者の皆様へ 企業評価は会社の健康診断です

将来への備えを考える きっかけに

> 企業価値 向上

事業承継 準備

資本提携 の検討



全国金融機関《初》

あなたの会社の市場価値を



**V** COMPASS

取引事例法評価システム

で試算してみませんか?



担当者へお気軽にご相談ください

#### ご提供する簡易企業評価サービスの強み

## ノウハウを集約したレポート

複数の計算手法による比較、 その金額に至った経緯など、 豊富な情報を丁寧に集約したレポートを提供します

## 取引事例法を採用

企業評価の専門会社が登録する、 業界最大級の取引事例データベースを参照して、 より中立的な試算を行います



#### 中立的試算

年間1,000件超の 企業評価を行っている 専門会社監修の システムを利用



## 専門家対応

経験豊富な 銀行の専門チームが 対応いたします



#### 短期診断

資料を受領後 ニーズに応じて すぐにご対応いたします



## 秘密厳守

開示された資料及びご相談された内容は 秘密厳守を お約束します

#### 相続税評価額と市場価値評価額との違い

## 相続税評価額とは?

相続税(又は贈与税)申告のため用います。

評価額は納税額に影響することから、資産については、納税者有利となるように保守的な(評価額が低くなるような)評価となる場面が多いです。一方、負債については基本的に引当金は考慮しません。そのため、市場価値評価額と大きく乖離することもあります。

なお、税額計算のためですから、国税庁が公表している 財産評価基本通達という基準に従って計算を行うのが 一般的で、当事者の話し合いで価格が決まるというもの ではありません。

## 市場価値評価額とは?

例えばM&Aによる譲渡価額を検討するため用います。 そのため、資産は株式譲渡または事業譲渡を前提とした 評価を行います。これは、相続税評価額より高く評価される 傾向があります。

一方、負債については引当金の計上等を考慮することで、リスクを反映したより実態に即した評価となります。 また、不確定要素や潜在的要素、対象会社の個別状況などを考慮した当事者の合意で決まる部分もあることから、 第三者による評価額には一定の幅があるのが通常です。

# 地域に根差し 地域企業の繁栄を願う沖縄銀行が 親身にご相談を承ります





